

会報八号

2013年8月25日

電話 075-691-7561
 発行責任者 石田房一
 広報編集部長 松田誠二
 編集部長 清水美優・西片里紗
 編集員 木村亜衣・永田裕哉
 印刷 株式会社サイズ 075-671-8107



*It has been designated an Important Intangible Folk Cultural Property.
 Kichijoin Rokusai Nenbutsu Odori, designated in 1983.*



国の重要無形民俗文化財指定
 吉祥院六斎念仏踊り

伝統文化「伝承者」育て

六斎寺子屋を開校

吉祥院六斎歴史研究会獅子の如くが、五月十七日(金)「子ども六斎会」で活動する子どもたちを対象に、地域資源(旧学習施設)を活用し、楽しく学べる場、くつろげる場をつくることを目的に「六斎寺子屋」を開校しました。毎月第三金曜日午後七時(実施



六斎寺子屋塾長/關正雄
 (吉祥院六斎歴史研究会顧問)

「六斎寺子屋」は、子どもたちが宿題や補習などを持ち寄り、自主学習を行う他、吉祥院六斎の歴史を調べたり体験学習やレクレーション(子ども六斎会宿泊練習会等)を実施し、子どもと保護者、地域のボランティアが地域社会資源を有効活用して、お互いが学習し、くつろげる居場所となることを目指しています。吉祥院の地域伝統芸能である「六斎念仏踊り」と「地域教育」の緊密な連携で様々な課題などに対応していきたいと考えています。

子どもたち自らが考えている必要なのかな…。

く中で、創造力や主体性が知恵として身になることを願っています。さらには、講演の企画、パンフレット作成などの発信力も学んで欲しいし、もちろん、実技を理解する必要もあり、演目の獅子や芸物を習得するため、保存会会員に「弟子入り」制度も導入したいと考えています。

「地域の伝統文化の伝承には、企画力、発信力が必要。そのための人材育成が欠かせない。伝統が息づく吉祥院の地の利を生かして、長い目で担い手

を育てて行きたい」と後継者育成に取り組んでいます。

今後は、六斎保存活動の担い手育成に主観に置いた、六斎体験教室の充実や指導者育成等を行い、また、そうした点を織り込んだ「六斎サポーター体制」の組織化、さらには、地域文化のまちづくり支援として、子ども六斎会との交流を取り入れた文化交流事業を通して、子ども同士が文化コミュニケーションのネットワーク形成に加われるようサポートしていきたいと考えています。

六斎寺子屋塾長/關正雄

獅子の如く出版記念懇親会開催



「獅子の如く」創刊号出版記念懇親会が、五月十一日(土)京都駅前メルパルク京都八階大ホールで開催しました。

懇親会は、山中兼一氏(企業代表)をはじめ、井上孝司氏(企業副代表)、西留哲郎氏(吉祥院人権啓発企業連絡会会長)、西村一孔(吉祥院支部支部長)、木村俊典氏(吉祥院六斎保存会会長)、關正雄氏(吉祥院六斎歴史研究会獅子の如く顧問)が呼びかけ人となり、約八十五名の参加者で盛大に行われました。

者配り、吉祥院六斎の歴史的意義を地域に伝えるなどの活動を行っており、この度、伝統芸能を通じた地域教育(石田房一吉祥院六斎歴史研究会獅子の如く代表)として取りまとめた

創刊号を発刊しました。

懇親会では、貴重な吉祥院六斎の記録映画や吉祥院子ども六斎の四ツ太鼓・獅子を披露した他、来場者へのプレゼント(六斎ノベルティグッズ抽選会)など、楽しい催しで参加された皆さんに楽しんでいただきました。

獅子の如く創刊号を通して、吉祥院六斎保存活動をより広く地域に伝え、六斎の活性化につなげたいと考えています。

編集部/清水美優・西片里紗

六斎の担い手育成や会報等に活用するため、六斎担い手育成基金を設立しています。多くのサポーター登録を募集しています。

◆ 問い合わせ ◆
 NPO法人ふれあい吉祥院ネットワーク
 ☎(075) 691-7561 まで



出版記念懇親会で獅子を披露(メルパルク京都於)

吉祥院六斎担い手育成基金「吉祥院六斎サポーター」にご登録いただいている企業や組織の皆様をご紹介させていただき、敬意を表します。

解放新聞社京都支局

代表 西島藤彦

〒603-8151

京都市北区小山下総町5番地の1
 京都府部落解放センター内
 電話 075-415-1030・1031

吉祥院人権啓発企業連絡会



榊西建 代表取締役	笠井 俊明	榊ニシケン土木 代表取締役	西留 保男
榊原田工業 代表取締役	原田 稔	榊中島電工 代表取締役	中島 保
榊大伸工業 代表取締役	山本 健次	榊吉村造園 代表取締役	吉村 通夫
榊伸高建設 代表取締役	新井 勇	井上工業所 代表取締役	井上 孝司
榊サイズ 代表取締役	山本 哲稔		

kissyokai

企祥会

人権のまちづくり活動をサポート

代表 山中兼一

吉祥院六斎保存会 獅子演技解説

獅子後 / 木村 信彦
Horonobu - Kimura

獅子前 / 村田 大輔
Daisuke - Murata



技名：獅子返り
私たちが一番こだわってきた技。獅子が後方に連続で回転する迫力ある技。カッコイイ！



技名：前上がり
獅子の技で一番基本の技。この技から獅子返り等の連続技へ発展させる。



技名：後上がり
後役が前役の腰で倒立する技。碁盤での倒立は、この倒立をしている。



技名：肩上がり
後上りに似ているが、この技は前役の肩で倒立する技で後上がりよりも倒立が高くなる。



場所 / 吉祥院いきいき市民活動センター
高齢者ふれあいサロンにて

解説 / 木村信彦 (吉祥院六斎歴史研究会獅子の如く幹事)
撮影 / 岡本久美子 (吉祥院いきいき市民活動センター職員)

It has been designated an Important Intangible Folk Cultural Property. Kissoyin Rokusai Nenbutsu Odori. designated in 1983.

吉祥院六斎担い手育成基金「吉祥院六斎サポーター」にご登録いただいている企業や組織の皆様をご紹介させていただき、敬意を表します。

文化財は国民共有の財産であり、時代の変化の中でも守っていくべき重要な価値を有するものであります。

今後とも吉祥院六斎念仏踊りの保存と活用を通じた魅力あるまちづくりの発展を心より、お祈り申し上げます。

平井 育己
Toshiki. Hirai

NPO法人ふれあい吉祥院ネットワーク



理事長 野村 良博
副理事長 鈴木 敏夫
専務理事 石田 房一
事務局長 關 正雄

こころ ふれ愛 夢づくり 吉祥院
安心して暮らせるまちづくりを目指します。

OKI 隠岐オート



自動車整備業

〒601-8354
京都市南区吉祥院
仁木ノ森町33
☎075-661-1267